

▲高浜市公共施設あり方計画（案）

## 目標（2）

# 将来を見据えた計画的・効果的な 財政運営を行います

### I. 目指す姿【PLAN】

目標達成に向けての考え方	歳入の大幅な増加が見込めない中、行政サービスを着実に実施していくため、中長期的な視点に立ち、公共施設のあり方など将来にわたる課題に、計画的に取り組むとともに、より効果的な財政運営を行っていきます。
目標が達成された姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 市税などの自主財源が安定的に確保され、計画的な財政運営が行われています。</li> <li>◇ 将来的な公共施設のあり方について、市民の関心が高まっています。</li> <li>◇ 市の財政状況に対する市民の理解が深まっています。</li> <li>◇ 市民ニーズをふまえ、効率的かつ効果的に行政サービスが提供されています</li> </ul>

### II. 目標達成のための主な取組み【DO】

こんなことに取り組みます！	何を・どうした	いつ
(1) 市税収入など、自主財源の確保に努めます。	①愛知県西三河地方税滞納整理機構と協働し滞納解消に努めた。	H26.5～ H27.2
	②公共施設の使用料改定額の試算を行った。	H26.9～ H27.2
	③「使用料・手数料見直し（改定）に係る基本方針（中間素案）ほか、プロジェクトの活動報告を部長会で行った。	H27.3
(2) 限られた財源を重点的、効果的に配分するとともに、継続して行政サービスが提供できるよう、既存サービスの見直しに取り組みます。	①他市とのサービス水準比較をするためアンケート調査項目（案）の抽出（ex.1,000項目）を行った。	H26.4～8
	②今後20年間を見据えた財政負担の見直しと財源確保の目標を提示する「長期財政計画」の作成について検討し、その中で行政サービスのあり方を検討することとした。	H27.3
(3) 将来の公共施設のあり方について、市民とともに問題意識を共有しながら、具体的な検討を進めます。	①公共施設あり方計画（案）を作成し、市としての方針をまとめた。	～H26.6
	②高浜小学校整備事業において、市民を交えたワークショップを開催し、情報共有及び提供サービスについて検討した。	H26.10～ H27.3
	③市役所本庁舎整備事業において、事業者と基本協定及び事業契約を締結した。	H27.3
(4) 市民の知りたい、市民に知ってもらいたい財政情報を積極的に提供します。	①広報に（当初予算、決算、借金時計、貯金通帳）を掲載した。	H26.4～11
	②従来の「わかりやすい予算書」を踏襲した「平成27年度版当初予算の概要」（案）を作成した。	H27.3
(5) 市民ニーズを反映した行政サービスを展開し、行政サービスの向上につながるものについては、国・県・近隣市などをはじめとした関係機関との広域的な連携を行います。	①刈谷市美術館において、かわら美術館企画展チケットを販売した。	H26.4～ H27.3
	②定住自立圏共生ビジョン懇談会において各分野の進捗状況の確認を行った。	H26.6～

### Ⅲ. 目標の達成状況と結果分析【CHECK】

#### 1. 市民意識調査結果

【設問】 将来を見据え、計画的で効果的な財政運営が行われているまちだと思う

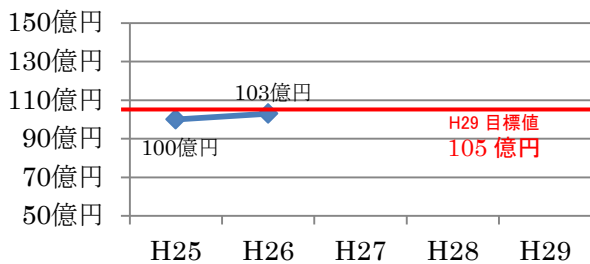
現状値 (H25)	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	動向
44.5%	45.7%				

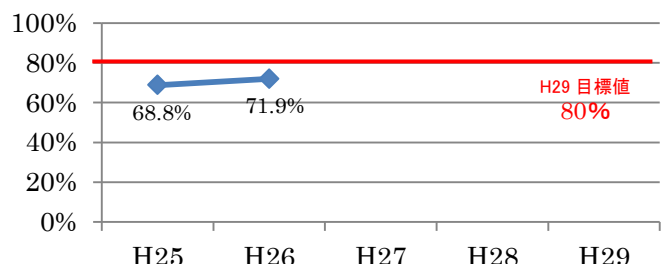
性別	年齢別	N	回答割合 (%)					現状値 (%)
			そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答	
全体	全体	875	5.7	40.0	38.6	12.5	3.2	45.7
	男性	342	5.6	37.4	39.5	15.2	2.3	43.0
女性	女性	522	5.6	41.8	38.7	10.3	3.6	47.4
	10歳代	9	11.1	33.3	55.6			44.4
20歳代	20歳代	81	4.9	32.1	44.4	17.3	1.2	37.0
	30歳代	142	2.1	39.4	48.6	9.9		41.5
40歳代	40歳代	162	3.1	37.7	42.6	14.8	1.9	40.8
	50歳代	160	1.9	39.4	40.6	15.0	3.1	41.3
60歳代	60歳代	149	7.4	38.9	37.6	14.1	2.0	46.3
	70歳以上	161	13.0	49.1	23.0	5.6	9.3	62.1

#### 2. 「みんなで目指すまちづくり指標」の状況

##### 1) 自主財源の額



##### 2) 市の財政状況に関心を持っている人の割合



#### 3. 「市民意識調査」「みんなで目指すまちづくり指標」結果に対する分析 (要因・課題等)

- 指標1) 「自主財源の額」は策定時と比べて3億円増加し、目標値達成に向けて上昇しているが、企業誘致や既存事業の支援策だけでないリーマンショック後の景気の回復にも支えられている面もあることに留意する必要がある。目標達成に向けては、アクションプランに掲げる工業用地創出事業、企業誘致事業、市税等徴収事業のほか、基金の計画的な積立てを行っていく必要がある。
- 指標2) 「市の財政状況に関心を持っている人の割合」は策定時と比べて3.1%増加し、目標値に向かって順調に推移している。増加の要因については、平成26年度は「公共施設あり方計画(案)」について、市内5小学校区で住民説明会を開催し、あわせて「市の財政状況」について説明を行うなど、新たな取組みを行ってきたことも貢献しているのではないかと考えている。
- 「市民意識調査の結果」は、策定時と比べて1.2%の微増となっている。歳入の大幅な増加が見込めないながらも、行政サービスを着実に実施していくためには、自主財源の確保だけでなく、歳出削減の取組みを両輪として進めていく必要があり、市民の理解が不可欠であることから、ホームページ等での情報提供のみならず、平成26年度に引き続き、公共施設等総合管理計画に係る住民説明会等において、直接説明する機会を確保し、市の財政状況について関心を持っている人の割合を増やしていく取組みを計画している。

## Ⅳ. 課題と今後の取組み【ACTION】

課題	課題解決に向けた新たな取組み（案） 見直し・改善（案）
<p><b>（１）自主財源の確保・歳出削減の取組みの推進</b></p> <p>①自主財源の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自主財源の確保については、景気に左右される面があるが、景気に左右されない主体的な取組みが必要である。</li> </ul> <p>②歳出削減</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自主財源の確保といっても使用料・手数料然り、手間はかかるが量はなかなか生まれない。そうした中で将来を見据えた財政運営を行っていくためには、<u>公共施設等の総量圧縮、行政サービスの見直しなど歳出削減への取組みを進めて行く必要がある。</u></li> <li>行政サービスの見直しなど歳出削減への取組みについては、事業所管部局の主体的な取組みが必要であり、全庁的に取り組む必要がある。</li> </ul> <p>③歳出削減に係る評価軸の見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事業を維持することに比べ、事業を廃止したり、事業費を削減することは大きな労力を要する。</li> <li>こうした厳しい財政状況が予想される中で歳出削減に取り組んでいくためには、「<u>予算や現状を自ら見直し、やめる・減額する</u>」ということが組織全体として求められる。</li> <li>予算要求課においても全体最適、健全な財政運営を考えるため、受益者負担の見直し、広告料収入の確保等の「<u>自主財源の確保</u>」、「<u>事業の廃止</u>」、「<u>予算の減額</u>」を評価する組織風土の醸成が必要である。</li> </ul>	<p>①自主財源の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>アクションプランに掲げる<u>工業用地創出事業、企業誘致事業、市税等徴収事業のほか、基金の計画的な積立てを行っていくことにより、自主財源の確保を進める。</u></li> </ul> <p>②歳出削減</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>歳出削減への取組みでは、<u>公共施設等総合管理計画に基づく、公共施設・インフラに係る事業費削減、既存サービスの事業費削減計画を含む長期財政計画に基づく行政サービス水準の抑制など、歳出削減策を進める。</u></li> </ul> <p>③歳出削減に係る評価軸の見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>現在の評価軸は、主要・新規等個別事業の進捗に重点が置かれているが、全体最適を図る上では、<u>個別事業の進捗だけでなく、行財政改革度といった、全般的な視点が必要となる。</u></li> <li>あわせて、法令の規定に基づくものを除き、市の裁量に基づく主要・新規事業については、<u>人件費や間接費、将来の負担といったコスト意識を念頭に置いて事業化を検討する必要がある。</u></li> </ul>
<p><b>（２）公共施設の老朽化問題への対応</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>今後のまちづくりを見据えた公共施設の老朽化問題への理念を示し、課題へ対応する必要がある。</li> <li>市民と問題意識を共有し、<u>公共施設のあり方に対する理解度を高める必要がある。</u></li> <li>資産を有効に活用するため、<u>インフラ資産を含めた公共施設のあり方の検討を行う必要がある。</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>公共施設の老朽化問題に対する取組みを、将来にわたって着実に進めていくための体制づくりとして、<u>公共施設マネジメント基本条例の策定や第三者評価委員会などの体制づくりを進める。</u></li> <li>地域説明会、広報、市公式ホームページなどを通じて、<u>公共施設のあり方に関する継続した情報提供を実施していく。</u></li> <li>公共施設に加え、<u>インフラ資産を含めた方針をとりまとめた公共施設等総合管理計画の策定を行う。</u></li> </ul>
<p><b>（３）市の財政状況に対する市民の理解を深める</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市民に当事者意識を持って市の財政状況を見ていただくことが大切であり、財政に関する情報を市民に浸透させるには、<u>適切な時期に、わかりやすく発信していくことが欠かせない。</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市の財政状況にさらに関心を持ってもらえるように、<u>市民の「知りたい」という声を踏まえながら「当初予算の概要版」「決算の概要版」を作成する。</u>県内や全国平均との比較を用いるなど、財政がどのようになっているか、今後どのようになるのかをわかりやすくお知らせする。</li> </ul> <p>〔掲載情報の例〕</p> <p>市税収入の状況、地方交付税の状況、地方債の借入状況・現在高の状況、基金の状況、歳出性質別経費の状況、財政健全化指標の状況 など</p>

## V. 第6次高浜市総合計画推進会議による点検・確認結果【CHECK】

### II. 目標達成のための主な取組み【DO】に関して

### III. 目標の達成状況と結果分析【CHECK】に関して

### IV. 課題と今後の取組み【ACTION】に関して

### その他、目標の達成に向けて